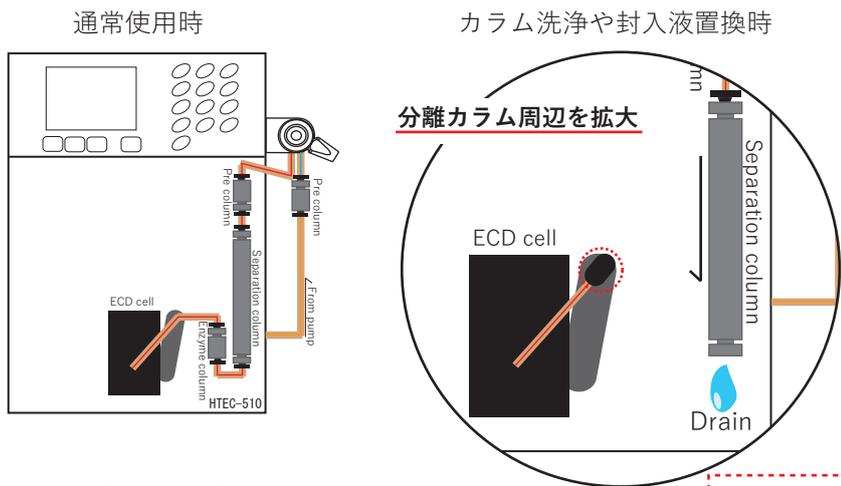


エイコム分析カラム、酵素カラムの取り扱いについて

	SC-50DS	PP-ODSIII	CAX
目的物質	モノアミンと代謝物	DA,5-HT	NA, DA, 5-HT
初期封入液	メタノール	20% メタノール	0.2M リン酸アンモニウム pH3.5
設定流速	2.1 φ = 230 μL/min 3.0 φ = 500 μL/min	500 μL/min	250 μL/min
洗浄方法	20% メタノール 1 時間 →メタノール 1 時間 →20% メタノール 1 時間 →移動相 4~5 時間	20% メタノール 1 時間 →メタノール 1 時間 →20% メタノール 1 時間 →移動相 4~5 時間	移動相 で 24 時間流す もしくは、入念に洗う場合 超純水 1 時間 →メタノール 1 時間 →超純水 1 時間 →移動相を 12 時間以上
保管方法	2 週間以内 移動相 2 週間を超える場合 20% メタノール 1 時間 盲栓をして室温保存	2 週間以内 移動相 2 週間を超える場合 20% メタノール 1 時間 盲栓をして室温保存	2 週間以内 移動相 2 週間を超える場合 初期封入液 1 時間 盲栓をして室温保存

	CA-50DS	SA-50DS	FA-30DS
目的物質	NA, AD, DA	アミノ酸	Glu,GABA
初期封入液	20% メタノール	20% メタノール	20% メタノール
設定流速	230 μL/min	500 μL/min	測定時：500 μL/min 洗浄時：300 μL/min
洗浄方法	20% メタノール 1 時間 →メタノール 1 時間 →20% メタノール 1 時間 →移動相 4~5 時間	20% メタノール 1 時間 →メタノール 1 時間 →20% メタノール 1 時間 →移動相 4~5 時間	20% メタノール 1.5 時間 →メタノール 1.5 時間 →20% メタノール 1.5 時間 →移動相 4~5 時間
保管方法	2 週間以内 移動相 2 週間を超える場合 20% メタノール 1 時間 盲栓をして室温保存	2 週間以内 移動相 2 週間を超える場合 20% メタノール 1 時間 盲栓をして室温保存	2 週間以内 移動相 2 週間を超える場合 20% メタノール 1 時間 盲栓をして室温保存

	AC-GEL	AC-ENZYMII	GU-GEL	E-ENZYMPAK
目的物質	ACh,Ch		Glu	
初期封入液	移動相	移動相	移動相	移動相
設定流速	150 μ L/min		350 ~ 400 μ L/min	
洗浄方法	超純水 1 時間 →メタノール 1 時間 →超純水 1 時間 →移動相 8 時間	洗浄不可	洗浄不可	洗浄不可
保管方法	2 週間以内 移動相 2 週間を超える場合 30% メタノール 1 時間 盲栓をして室温保存	移動相に浸けて 4°C冷蔵保存	盲栓をして室温保存	移動相に浸けて 4°C冷蔵保存



使用する溶媒

超純水

比抵抗値 18M Ω 以上

メタノール

HPLC グレード

20% メタノール

メタノール : 超純水 = 1 : 4 (V/V)

< カラム使用時の注意点 >

カラム購入時の封入液は各表の通り。

移動相に置換して使用しますが、封入液で電極を汚したり劣化させてしまう場合があるので、

カラム装着後に規定流速で送液し、カラムエンドから 1 時間以上、廃液ビンに受けて下さい。(上の図)

その後、カラムエンドを ECD セルの配管に接続してバックグラウンド電流値 (=BGC) が安定するまで送液して下さい

黒ビニルキャップやパラフィルムを巻いて
ECD セル内が乾燥しないようにしてください

< カラム洗浄時の注意点 >

電極の種類によってはメタノールを流せない物があります (WE-3G、WE-PT など)

カラム洗浄時は ECD セルにメタノールが流れないように、カラムエンドで廃液ビンに受けて下さい

カラム洗浄に 100% メタノールを使用しますが、移動相などの塩が残ったままメタノールを流すと、

塩が析出しカラムが詰まる原因となります

各表の洗浄手順に沿って、超純水 or 20% メタノールに置換後にメタノールを流して下さい

※ 0.2M リン酸アンモニウム pH3.5 作製方法

リン酸二水素アンモニウム (和光純薬工業 試薬特級 012-03305) 23.01g を精製水に溶解して全量を 1,000 mL とし、

この溶液に精製水で 10 倍容量希釈したリン酸 (和光純薬工業 生化学用 160-08636) 約 4.4mL を加えて pH を 3.5 に調整する。